正誤表２（PrintPartner GL-8300A 取扱説明書）

１０ページ
■添付品（一覧表）
変更

添付品一覧表の内容を以下のように変更します。

【誤】

⑦ Windows 95/98 用プリンタドライバ
Windows NT4.0 用プリンタドライバ
(3.5 インチフロッピーディスク×2 枚)

【正】

⑦ Windows 95/98 用プリンタドライバ
Windows NT4.0 用プリンタドライバ
(3.5 インチフロッピーディスク×3 枚)

７９－８０ページ
■Plug & Play インストール手順
変更

Plug & Play インストール手順の記述を以下のように変更します。

【誤】

４．次のダイアログボックスが表示されます。添付のフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブへ挿入します。［フロッピーディスクドライブ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

～ (中略) ～

７．［次へ］ボタンをクリックすると、ファイルのコピーが開始されます。

【正】

４．次のダイアログボックスが表示されます。添付の「PrintPartner GL-8300A プリンタドライバ ディスク 1」ラベルがついたフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブへ挿入します。［フロッピーディスクドライブ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

～ (中略) ～

７．［次へ］ボタンをクリックすると、ファイルのコピーが開始されます。コピー中に「FUJITSU PrintPartner GL-8300A Windows95(98)プリンタドライバ上のファイル FJ8ARES.DLL が見つかりませんでした。」のメッセージが表示されたら、「PrintPartner GL-8300A プリンタドライバ ディスク２」のラベルがついたフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブへ挿入して［OK］ボタンをクリックします。

８３－８５ページ
■通常のインストール手順
変更

通常のインストール手順の記述を以下のように変更します。

【誤】

７．［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。(画面は８．を参照)。添付のフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。

～ (中略) ～

１４．［完了］ボタンをクリックすると、ファイルのコピーが開始されます。

【正】

７．［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスが表示されます。(画面は８．を参照)。添付の「PrintPartner GL-8300A プリンタドライバ ディスク 1」ラベルがついたフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。

～ (中略) ～

１４．［完了］ボタンをクリックすると、ファイルのコピーが開始されます。コピー中に「FUJITSU PrintPartner GL-8300A Windows95(98)プリンタドライバ ディスク２ラベルのついたディスクを挿入して［OK］をクリックして下さい。」のメッセージが表示されたら、「PrintPartner GL-8300A プリンタドライバ ディスク２」のラベルがついたフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブへ挿入して［OK］ボタンをクリックします。

１０３ページ

■カラー設定シート（ｲﾗｽﾄ）

変更／追加

カラーマネージメントに「写真」、「写真/文字」を追加します。

カラー設定シートは以下のようになります。

１０３－１０４ページ

■カラー設定シート

変更／追加

①カラー制御（変更なし）

②カラーマネージメント（色合わせ方式）

次の６種類の中からいずれかを選択します。

鮮やか：本プリンタの色再現範囲をフルに活かしたカラーマネージメントを使用します。

写真　：写真印刷に適した印刷モードです。

写真/文字：イメージは写真モードで、文字、グラフィックスは鮮やかモードで印刷します。

ディスプレイ：ディスプレイに近い色味を印刷するカラーマネージメントを使用します。

Windows 標準方式：Windows 標準のカラーマネージメントを使用します。

補正無し：カラーマネージメントを使用せず、印刷を行います。

③モノクロ印刷時のカラー文字処理（変更なし）

④［「鮮やか」モードの色補正］、［「写真」モードの色補正］、［「写真/文字」モードの色補正］、［「ディスプレイ」モードの色補正］、［「モノクロ」モードの色補正］ボタン
クリックすると［色補正］ダイアログボックスを表示します。『［色補正］ダイアログボックス』（⇨📖 本資料 P3）を参照してください。

⑤［写真の黒を 3 色で再現］（変更なし）

⑥［標準に戻す］ボタン（変更なし）

１０５／１３５ページ
■［色補正（鮮やか)］ダイアログボックス（ｲﾗｽﾄ）
変更／追加

「自動画像補正」、「色調整（カラーバランス）」、「ピント調整」、「美肌調整」を追加します。また、色補正結果の画像に人物画を追加します。
色補正ダイアログボックスは以下のようになります。

１０５－１０６／１３５－１３６ページ
■色補正ダイアログボックス
変更／追加

[色補正]ダイアログボックス
細かな色調や明暗、コントラストなど、色の補正を行います。また、補正した値を再利用することができる、色補正データとして登録することもできます。
［色補正（写真)］、［色補正（写真/文字)］、［色補正（ディスプレイ)］、［色補正（モ

ノクロ)］ダイアログボックスも同様に表示されます。補正の方法は、「鮮やか」モードと同じです。［色補正（モノクロ)］ダイアログボックスはモノクロで表示され、色調整、コントラスト、彩度の補正はできません。

①自動画像補正

印刷画像に対して最適な色調整を自動で行います。

②色調整（カラーバランス）

印刷画像の色味を手動で調整します。この項目をチェックし、③色調整スクロールバーを使用することで値の調整を行います。

③色調整スクロールバー

印刷画像に対して赤、緑、青のそれぞれを独立して調整することができます。
また、濃さを調節することで、３色を一括調節することができます。
スクロールバーのつまみをドラッグして補正値を設定します。または ◀ ▶ ▲ ▼ をクリックして補正値を設定します。
値の指定を右方向（＋方向）に移動するほど、補正値は大きくなります。補正値が大きいほど、色の濃い画像になります。

④ピント調整

印刷画像のピントを調節することができます。
スクロールバーのつまみをドラッグして補正値を設定します。または ◀ ▶ ▲ ▼ をクリックして補正値を設定します。
値の指定を右方向（シャープ方向）に移動するほど、補正値は大きくなります。補正値が大きいほど、輪郭のくっきりとした画像になります。

⑤［画像切り替え］ボタン

クリックするたびに、色補正結果の画像（人物画／自然画／カラーチャート）を切り替えます。

⑥美肌調整

人物の肌色部分を調整します。この項目をチェックし、⑦美肌調整スクロールバーを使用することで値の調整を行います。

⑦美肌調整スクロールバー

スクロールバーのつまみをドラッグして補正値を設定します。または ◀ ▶ ▲ ▼ をクリックして補正値を設定します。
スクロールバーでは、肌の色（白／黒)、肌の色（赤／黄)、ノイズ除去の３項目が調整できます。以下に特徴と内容を示します。

調整項目	特徴と内容
肌の色（白／黒）	肌色を白や小麦色に着色することができます。 値の指定を右方向（黒み方向）に移動するほど、肌色は小麦色になります。また、左方向（白み方向）に移動するほど、肌色は白色になります。
肌の色（赤／黄）	肌色を赤や黄色に着色することができます。 値の指定を右方向（黄色み方向）に移動するほど、肌色は黄色みを帯びます。また、左方向（赤み方向）に移動するほど、肌色は赤みを帯びます。
ノイズ除去	肌色部分のノイズ（雑音）を除去することができます。 値の指定を右方向（強修正）に移動するほど、ノイズ除去効果が強くなります。また、左方向（無修正）に移動するほど、ノイズ除去効果が弱くなります。

⑧印刷品位

次の 3 種類の中からいずれかを選択します。

自動：画像データに合わせた色調整処理を行い印刷します。

速度：速度優先で色調整処理を行い印刷します。この場合、画質劣化を伴うことがあります。

画質：画質優先で色調整処理を行い印刷します。この場合、印刷速度が遅くなることがあります。

⑨明暗

スクロールバーのつまみをドラッグして明暗を設定します。または ◀ ▶ ▲ ▼をクリックして明暗の度数を設定します。

⑩コントラスト

スクロールバーのつまみをドラッグしてコントラストを設定します。または ◀ ▶ ▲ ▼をクリックしてコントラストの度数を設定します。

⑪彩度

スクロールバーのつまみをドラッグして彩度を設定します。または ◀ ▶ ▲ ▼をクリックして彩度の度数を設定します。

⑫色補正データの選択

▼をクリックして、登録されている色補正データを選択します。

⑬［登録］ボタン

このダイアログボックスで設定した色補正の値を、データとして登録する場合にククリックします。ダイアログボックスが表示されるので、登録名を半角 31 文字以内で入力し、［OK］ボタンをクリックします。最大 10 個まで登録できます。

⑭［更新］ボタン

このダイアログボックスで設定した色補正の値を、［色補正データの登録］に表示されている名前で更新します。

⑮［削除］ボタン

［色補正データの選択］に表示されている色補正データを削除します。

⑯［標準に戻す］ボタン

［色補正］ダイアログボックスの各項目の値を、標準状態に戻します。

●●ガイド●●

システム資源（メモリの空き容量／ハードディスクの空き容量）が不足している場合、画像補正処理を行わずに印刷される場合があります。この場合、起動しているアプリケーションのうち不要なものを終了して印刷するか、あるいはパソコンのメモリを増設してください。

１０６ページ　印刷レイアウト指定シートを追加します。

■レイアウトシート（ｲﾗｽﾄ）　レイアウトシートは以下のようになります。

追加

１０６ページ
■レイアウトシート
追加

このシートでは、用紙に対する印刷モードを指定します。

①レイアウトモード

次の 3 種類の中からいずれかを選択します。

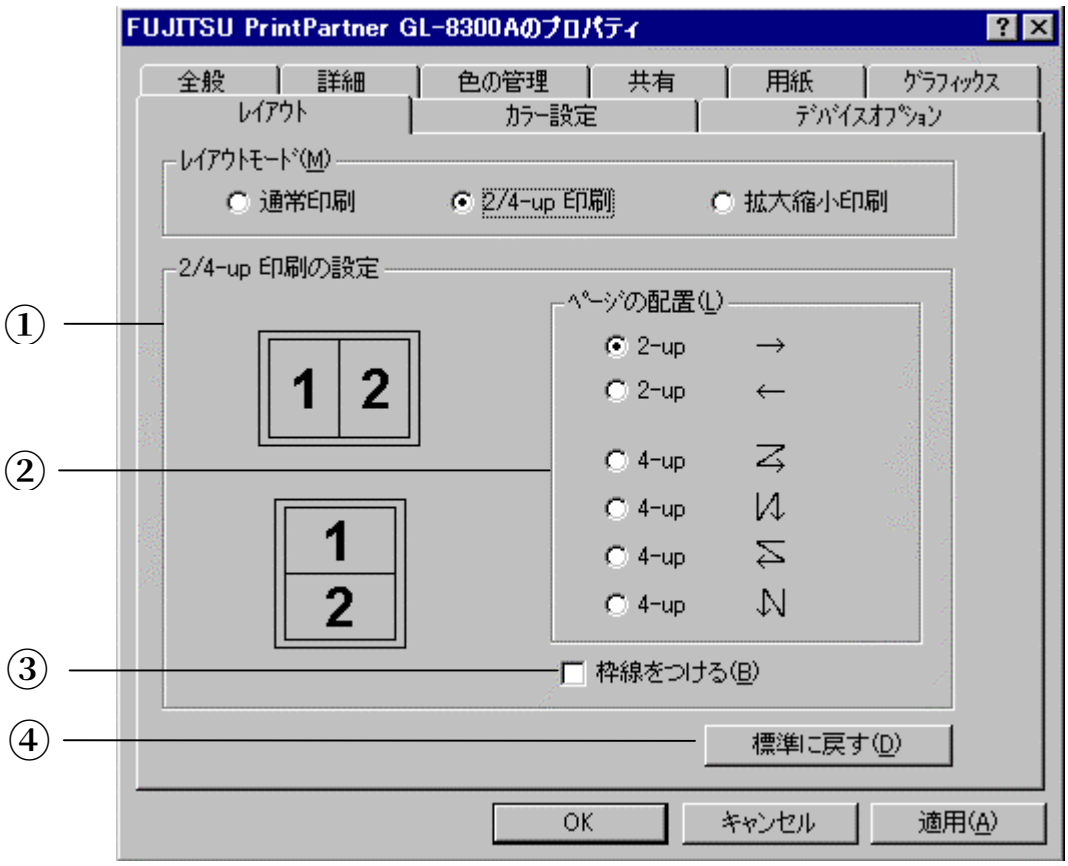
レイアウトモード	内容
通常印刷	印刷用紙１枚に対して印刷データ１ページ分を印刷します。
2/4-up 印刷	印刷データ１ページ分を 1/2 あるいは 1/4 に縮小し、縮小された印刷データ２ページ分あるいは４ページ分を印刷用紙１枚に配置して印刷します。 この項目を選択すると、[2/4-up 印刷の設定]が表示されます。
拡大縮小印刷	印刷データを任意に拡大・縮小し、印刷します。また、印刷用紙サイズに応じて印刷データの拡大・縮小を行い印刷します。 この項目を選択すると、[拡大縮小印刷の設定]が表示されます。

②［標準に戻す］ボタン

レイアウトシートの各項目の値を、標準状態に戻します。

１０６ページ
■レイアウトシート
2/4-up 印刷の設定（ｲﾗｽﾄ）
追加

このシートでは、2/4-up 印刷の設定を行います。
このシートは、レイアウトモードで［2/4-up 印刷］を選択した場合に表示されます。
レイアウトシートは以下のようになります。



１０６ページ
■レイアウトシート
2/4-up 印刷の設定
追加

①2/4-up 印刷の設定
印刷用紙に対してページの配置などを指定します。また、指定した配置を具体的なイメージとして表示し、確認することができます。
②ページの配置
縮小された印刷データを、印刷用紙に対してどのように配置するかを選択します。選択結果はイメージとして表示され、具体的なページの配置を確認することができます。
③枠線をつける
この項目をチェックすることで、各ページの輪郭部分に枠線をつけて印刷することができます。
④［標準に戻す］ボタン
レイアウトシートの各項目の値を、標準状態に戻します。

１０６ページ
■レイアウトシート
拡大縮小印刷の設定（ｲﾗｽﾄ）
追加

このシートは、拡大縮小印刷の設定を行います。
このシートは、レイアウトモードで［拡大縮小印刷］を選択した場合に表示されます。
レイアウトシートは以下のようになります。

１０６ページ
■レイアウトシート
拡大縮小印刷の設定
追加

①拡大縮小印刷の設定

印刷用紙サイズの指定や拡大縮小率を指定します。

②元の用紙

現在［用紙シート］で設定されている用紙サイズを表示します。
このシートから用紙サイズの変更はできません。

③印刷用紙

▼をクリックして印刷用紙サイズを選択します。印刷用紙サイズの詳細については、［用紙シート］の［①用紙（サイズと種類）］（⇨📖 P96）を参照してください。

④給紙方法

［印刷用紙］で設定した印刷用紙がセットされている給紙カセットまたは給紙トレイを選択します。
拡大縮小印刷を行う場合、給紙方法の指定は、拡大縮小印刷のダイアログで選択された給紙口が優先されます。

⑤拡大縮小率

任意に印刷データの拡大縮小率を変更することができます。指定可能な値は、50%から 200%までです（印刷用紙により異なります）。ただし、［印刷用紙に合わせて拡大縮小する］をチェックしている場合は、値を指定することはできません。

⑥印刷用紙に合わせて拡大縮小する

この項目をチェックすることで、[印刷用紙]で選択されている用紙サイズに応じた拡大縮小率を自動設定し、印刷データの拡大縮小処理を行います。本項目がチェックされている場合、[拡大縮小率]で指定した値は無効になります。

⑦［標準に戻す］ボタン

レイアウトシートの各項目の値を、標準状態に戻します。

１３３ページ

■詳細シート

ドキュメントのオプション

変更／追加

［レイアウト］の項目を追加します。また、［色補正］の［カラーマネージメント］に［写真］、［写真/文字］を追加します。

項　目	内　容
ドキュメントのオプション	［レイアウト］ ［“レイアウト”の設定の変更］画面が表示されます。 次のいずれかを選択します。 ［通常］は、印刷用紙１枚に対して印刷データ１ページ分を印刷します。 ［2/4-up 印刷］は、印刷データ１ページ分を 1/2 あるいは 1/4 に縮小し、縮小された印刷データ２ページ分あるいは４ページ分を印刷用紙１枚に配置して印刷します。 ［詳細］ボタンをクリックすると、［2/4-up 印刷］ダイアログボックスを表示します。 『［2/4-up 印刷］ダイアログボックス』（⇨📖 本資料 P10）を参照してください。 ［拡大縮小印刷］は、印刷データを任意に拡大・縮小し、印刷します。また、印刷用紙サイズに応じて印刷データの拡大・縮小を行い印刷します。 ［詳細］ボタンをクリックすると、［拡大縮小印刷］ダイアログボックスを表示します。 『［拡大縮小印刷］ダイアログボックス』（⇨📖 本資料 P11）を参照してください。 ［色補正］ ［カラーマネージメント(色合わせ方式)］ ［“カラーマネージメント(色合わせ方式)”の設定の変更］画面が表示されます。 次のいずれかを選択します。 ［鮮やか］は、プリンタの色再現範囲をフルに活かしたカラーマネージメントを使用します。 ［写真］は、写真印刷に適した印刷モードです。 ［写真/文字］は、イメージは写真モードで、文字、グラフィックスは鮮やかモードで印刷します。 ［ディスプレイ］は、ディスプレイと近い色味を印刷するカラーマネージメントを使用します。 ［補正なし］は、カラーマネージメントを使用せずに印刷します。

～　～　～

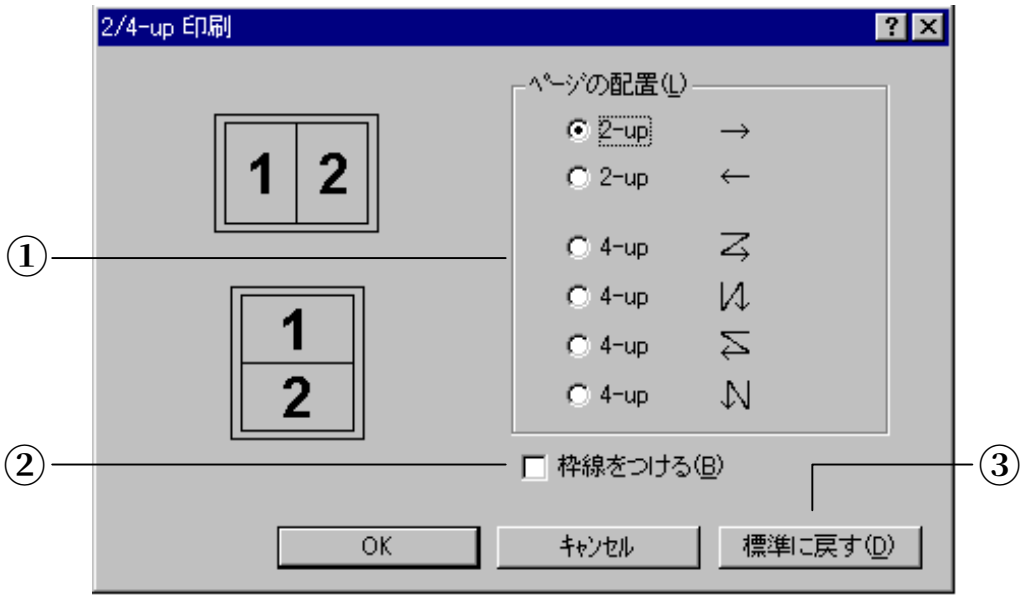
項　　目	内　　容
～	～ ～
ドキュメントのオプション	［詳細設定］ ［「鮮やか」モードの色補正］、［「写真」モードの色補正］、［「写真/文字」モードの色補正］、［「ディスプレイ」モードの色補正］、［「モノクロ」モードの色補正］をクリックすると、［色補正(鮮やか)］ダイアログボックスを表示します。『［色補正（鮮やか)］ダイアログボックス』(⇨📖 本資料 P3）を参照してください。

１３６ページ　　レイアウトの[2/4-up 印刷]ダイアログボックスを追加します。

■レイアウトシート

2/4-up 印刷ダイアログボックス

(ｲﾗｽﾄ)追加



１３６ページ

■レイアウトシート

2/4-up 印刷の設定

追加

①ページの配置

縮小された印刷データを、印刷用紙に対してどのように配置するかを選択します。選択結果はイメージとして表示され、具体的なページの配置を確認することができます。

②枠線をつける

この項目をチェックすることで、各ページの輪郭部分に枠線をつけて印刷することができます。

③［標準に戻す］ボタン

レイアウトシートの各項目の値を、標準状態に戻します。

１３６ページ
■レイアウトシート
拡大縮小印刷ダイアログボックス
（ｲﾗｽﾄ）追加

このシートは、拡大縮小印刷の設定を行います。
このシートは、レイアウトモードで［拡大縮小印刷］を選択した場合に表示されます。
レイアウトシートは以下のようになります。

１３６ページ
■レイアウトシート
拡大縮小印刷の設定
追加

①元の用紙

現在［用紙シート］で設定されている用紙サイズを表示します。
このシートから用紙サイズの変更はできません。

②印刷用紙

▼ をクリックして印刷用紙サイズを選択します。印刷用紙サイズの詳細については、［用紙シート］の［①用紙（サイズと種類）］(⇨ P96) を参照してください。

③給紙方法

［印刷用紙］で設定した印刷用紙がセットされている給紙カセットまたは給紙トレイを選択します。
拡大縮小印刷を行う場合、給紙方法の指定は、拡大縮小印刷のダイアログで選択された給紙口が優先されます。

④拡大縮小率

任意に印刷データの拡大縮小率を変更することができます。指定可能な値は、50%から 200%までです（印刷用紙により異なります）。ただし、［印刷用紙に合わせて拡大縮小する］をチェックしている場合は、値を指定することはできません。

⑤印刷用紙に合わせて拡大縮小する

この項目をチェックすることで、[印刷用紙]で選択されている用紙サイズに応じた拡大縮小率を自動設定し、印刷データの拡大縮小処理を行います。本項目がチェックされている場合、[拡大縮小率]で指定した値は無効になります。

⑥［標準に戻す］ボタン

レイアウトシートの各項目の値を、標準状態に戻します。

１８７ページ	エラーメッセージについての記述を以下のように変更します。
■エラーメッセージについて	【誤】
追加	操作パネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。 以下の表に従って、処置してください。
	【正】
	操作パネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。 以下の表に従って、処置してください。 定着ユニットあるいはベルトユニットの交換要求メッセージが表示されたときは、ユニット寿命です。このときは、お買い求めの販売店、または担当営業に連絡のうえ、早めに交換することを勧めます。なお、交換については有償となります。